

行事等

10月1日：令和3年度全国獣医師会会長会議（書面開催）
：第1回FAVA大会交流委員会／財務委員会
10月4日：第26回学術・教育・研究委員会
10月5日：家畜取引推進のための啓発普及事業専門委員会
10月7日：WWF ジャパンワンヘルス共同宣言呼びかけ
人12団体懇談会において境副会長兼専務理事
講演
10月8日：FAVA大会プロジェクト会議
10月9日：アジア獣医師会連合（FAVA）執行部会議
（WEB開催）に藏内会長出席
10月10日：近畿地区連合獣医師大会に藏内会長，村中副
会長，境副会長兼専務理事出席
10月12日：第75回日本獣医師会雑誌編集委員会

10月15日：第3回女性獣医師活躍推進委員会
10月16日：アジア獣医師会連合（FAVA）執行部会議
（WEB開催）に藏内会長，境副会長兼専務
理事出席
10月21日：第2回豚熱等家畜伝染病対策検討委員会
：第33回産業動物臨床・家畜共済委員会
10月25日：令和3年度日本獣医師会獣医学術学会誌編集
委員会
：令和3年度第2回日本獣医師会学会正副会長
会議
：令和3年度獣医学術賞選考委員会
10月26日：令和3年度第7回業務運営幹部会
10月27日：第25回総務委員会

募集

令和3年度 鳥取県 職員採用試験(獣医師)受験案内



1 受付期間

随時（土曜日，日曜日，祝日及び年末年始を除く。
最終受付は，令和4年1月28日(金)）

2 採用予定者数及び主な配属先

5名程度。家畜保健衛生所，畜産試験場，中小家
畜試験場，食肉衛生検査所，保健所，衛生研究所等

3 受験資格

- 年齢要件：
昭和46年4月2日以降に生まれた人
- 資格・免許等：
獣医師免許を有する人または
令和4年4月1日までに取得見込みの人

4 試験内容

面接のみ（ただし，獣医師としての職務経験が3
年未満の方は，専門試験あり）

5 採用時期

原則として令和4年4月1日（合格者と調整の上，
決定）

6 申し込み方法等

HPを参照 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/299206.htm>)

7 申し込み方法等

鳥取県総務部行財政改革局人事企画課
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地
☎0857-26-7034, 7033

令和3年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会プログラム (オンデマンド配信)

[令和3年10月29日現在]

※内容は変更になることがあります。

シンポジウム 「兵庫の至宝『但馬牛』と世界の舌を魅了する『神戸ビーフ』 ～改良と美味しさへの挑戦～」

日本産業動物獣医学会

- 但馬牛の歴史 野田昌伸 (兵庫県立但馬牧場公園但馬牛博物館)
- 但馬牛肥育における飼養技術の開発 正木達規 (兵庫県立農林水産技術総合センター 畜産技術センター)
- 神戸ビーフブランドを支える肉質評価技術の開発 小浜菜美子 (兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター)
- 但馬牛改良の変遷 ～血統・ゲノム情報の活用～ 大山憲二 (神戸大学大学院農学研究科)
- 神戸ビーフのブランド化と流通体制 谷元哲則 (神戸肉流通推進協議会)

教育講演 「臨床家が解説する、現場で実践したい牛の外科『マル秘』テクニック」

日本産業動物獣医学会

- 子牛の肢骨折に対する即時重合レジンによる創外固定 久野尚之 (NOSAI ひょうご 南あわじ家畜診療所)
- 牛の慢性第一胃鼓脹症に対する注射器製フィステルを用いた第一胃瘻管形成術 近藤 直 (ヴェックス・北海道)
- ユトレヒト変法による乳牛の第四胃左方変位整復手術 森田 稔 (NOSAI 道央 名寄家畜診療所)
- 肥育去勢牛の下部尿路閉塞に対する会陰部尿道瘻管形成術および下腹部膀胱瘻設置術 内山健太郎 (内山家畜診療サービス・佐賀県)

シンポジウム 「夜間小動物診療施設における救急疾患への対応」

日本小動物獣医学会

- 急性胃拡張胃捻転症候群 神津善広 (北摂夜間救急動物病院)
 - 急性肺水腫 川瀬広大 (札幌夜間動物病院)
 - てんかん重積発作 中村 俊 (どうぶつの総合病院)
- [総合討論]

シンポジウム 「獣医師の幹細胞治療について改めて考える」

日本小動物獣医学会

- 臨床現場における間葉系幹細胞の使用と問題点 横山篤司 (さくら動物病院)
 - 動物再生医療技術研究組合の取り組みで見えてきたもの 福田 威 (動物再生医療センター病院)
 - 国内初の動物用再生医療等製品「ステムキュア」について 上田忠佳 (DS ファーマアニマルヘルス(株))
 - 獣医領域における再生医療等製品の法的位置付けと今後の課題 佐藤耕太 (農林水産省動物医薬品検査所)
 - 獣医再生医療の倫理とガイドライン 枝村一弥 (日本大学)
- [総合討論]

シンポジウム 「注目すべき衛生害虫 ―その生態や防除について―」

日本獣医公衆衛生学会

- 保健所での相談事例から見たトコジラミ発生の実態と課題 矢口 昇 (豊島区池袋保健所生活衛生課)
- ヒアリ侵入の現状 ―高まる定着の危機― 橋本佳明 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館)
- 感染症を媒介するマダニの生態と同定法 山内健生 (帯広畜産大学環境農学研究部門)
- 衛生害虫の殺虫剤抵抗性の現状とその機構 葛西真治 (国立感染症研究所昆虫医科学部)

シンポジウム 「災害時に注意すべき健康危害 ―避難所における食中毒・栄養管理と感染症の制御について―」

日本獣医公衆衛生学会

- 災害時の避難所における食中毒予防 今川正紀 (厚生労働省医業・生活衛生局食品監視安全課食中毒被害情報管理室)
- 避難所における食中毒事例 ～救援物資が原因の事件とその検証～ 岡本裕行 (京都府山城北保健所)
- 災害時の栄養・食生活支援について 久保彰子 (女子栄養大学)
- 災害後の感染制御と環境感染学会 DICT の役割 櫻井 滋 (静眠堂メディカルデザイン(SMD))

シンポジウム 「希少鳥類における鳥インフルエンザウイルス感染対策の確立」**(公社)日本獣医学会**

- ヒト用抗インフルエンザ薬の鳥類における有効性について 追田義博 (北海道大学)
- 希少鳥類の生息環境における鳥インフルエンザウイルスサーベイランス 笛吹達史 (鳥取大学)
- HPAIV の希少鳥類への感染状況について 小澤 真 (鹿児島大学)
- 希少鳥類の培養細胞を活用した HPAIV 病原性の予測 大沼 学 (国立環境研究所)

シンポジウム 「人と動物のコロナウイルス感染症」**(公社)日本獣医学会**

- 新型コロナウイルスの変異株はなぜ出現してくるのか 水谷哲也 (東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター)
- 伴侶動物のコロナウイルス感染症 前田 健 (国立感染症研究所獣医科学部)
- 家畜のコロナウイルス感染症 鈴木 亨 (農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門)
- 鶏のコロナウイルス感染症 真瀬昌司 (農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門)
- 日本のコウモリコロナウイルス 村上 晋 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

**シンポジウム 「ここまでわかった、人と動物における新型コロナウイルス感染症
—コロナ禍におけるペットとの付き合い方—」****(公社)日本獣医師会**

- 変異株の病原性なども含めた COVID-19 の最前線と今後の動向 松本哲哉 (国際医療福祉大学)
 - COVID-19 ワクチンの効果と安全性 岩田 敏 (国立がん研究センター中央病院)
 - ペットと COVID-19 感染症の実態 桃井康行 (東京大学)
 - 獣医臨床の現場における人とペットのコロナ対策 中川清志 ((公社)東京都獣医師会)
- [総合討論]

シンポジウム 「新型コロナウイルス感染症・動物の感染症と獣医師**—獣医師の職場からの報告、そして獣医師のメンタルヘルスのために—****(公社)日本獣医師会**

- 新型コロナウイルス感染症と獣医師の関わり 白岩利恵子 ((一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター所長)
- 動物の感染症対策を担う獣医師の今 (仮) 佐藤則子 (茨城県県南家畜保健衛生所所長)
- 牛の健康から人の健康へ —社会と健康の関係— 金森万里子 (東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程)
- 組織公正性の高い職場づくりを —獣医師の職場環境や仕事内容を再考する— 谷 千賀子 (畜ガールズ (産業動物に興味のある女性の会) 会長)
- これまでのシンポジウムのご講演から 未 定 (一)

シンポジウム 「我が国の獣医学教育改革の動向」**全国大学獣医学関係代表者協議会****【獣医学教育の国際認証と分野別評価】**

- 大学基準協会による分野別第三者評価の目的と進捗状況 (仮題)
- 欧州獣医学教育機関協会の認証取得の意義について (仮題)

【獣医学教育支援機構の役割】

- 発足から現在に至るまでの経緯 (仮題)
- 供用試験の実施状況と課題 (仮題)

■ 農場管理専門獣医師等認定・活動支援事業研修会**(公社)日本獣医師会****■ 地区学会会長賞受賞講演：今年度の獣医学術地区学会において「地区学会会長賞」を受賞した演題約 50 題を配信****■ 日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演**

日本獣医師会雑誌令和元年 8 号～令和 3 年 7 号までに掲載された論文の中から選考された、「令和 3 年度日本獣医師会獣医学術賞『獣医学術奨励賞』」を受賞した業績による記念講演 (3 題) を配信

配信期間：令和 4 年 1 月 21 日(金)～2 月 6 日(日)

募 集

令和3年度 岩手県職員（獣医師・任期付獣医師）選考試験案内

1 応募資格

- (1) 獣医師：令和3年4月1日における年齢が45歳未満の方で、獣医師免許を有する方または採用までの間に取得する見込みの方
- (2) 任期付獣医師：令和3年4月1日における年齢が39歳以上の方で、獣医師免許を有し、令和3年3月31時点で民間企業・地方公共団体等における獣医師としての職務経験が15年以上ある方

2 申込期間

- (1) 獣医師
令和3年11月24日(水)～12月20日(月)
- (2) 任期付獣医師
令和3年11月24日(水)～令和4年1月7日(金)

3 選考試験の日程・場所

- (1) 獣医師：1次選考 令和4年1月15日(土)
2次選考 令和4年2月上旬
- (2) 任期付獣医師：1次選考 書類選考
2次選考 令和4年2月上旬

場 所：岩手県盛岡市（岩手県庁等）

4 試験方法

- (1) 獣医師
教養試験、論文試験、適性検査、口述試験
- (2) 任期付獣医師
書類選考、論文試験、適性検査、口述試験

5 岩手県職員選考採用情報（岩手県 HP）

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/saiyou/shokuin/1035149.html>

6 問い合わせ先

【選考試験関係】

岩手県総務部人事課 ☎ 019-629-5071

【職務関係：家畜衛生】

岩手県農林水産部農林水産企画室 ☎ 019-629-5639

【職務関係：公衆衛生】

岩手県環境生活部環境生活企画室 ☎ 019-629-5327

※任期付獣医師の任用期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間ですが、採用された日から5年の範囲内で任期を延長する場合があります。

紹 介

◎書 籍

新型コロナと向き合う

「かかりつけ医」からの提言

医療現場では何が課題だったのか、医療政策・医療行政のどこに問題があったのか、そして今後の展望は——。著者は日本医師会会長として初動の緊迫した半年間、新型コロナ感染症対応にあたった。この経験の中で得た教訓と、感染拡大から一年半余を経た現状を

踏まえ、「かかりつけ医」と地域医療を重視する立場からの提言を記した書。

著 者：横倉義武

ISBN：978-4-00-431900-9

体 裁：新書

ページ：254 頁

定 価：946 円

刊行日：2021年10月20日

問合せ先：(株)岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

☎ 03-5210-4000（番号案内）

日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程（本誌第73巻第12号715頁に掲載）」を参照願います。



宮崎県 職員(獣医師)

募集

申込要件

- 申し込み時点で獣医師免許取得者であること
- 令和4年4月1日現在で満60歳未満であること
- 県内どこでも勤務できること

採用予定日

- 令和4年4月1日以降
本県の状況及び応募者の都合に応じて、随時採用する場合があります。

所属先は

- 家畜保健衛生所
 - 食肉衛生検査所
 - 保健所
 - 動物愛護センター
 - 畜産試験場
 - 衛生環境研究所
 - 本庁
- 等になります。

※職場見学も可能ですので、お問い合わせください。

選考方法

- 面接試験
面接日時及び場所は、令和4年2月10日までの間で、応募者と相談の上決定します。

募集期間

- 令和4年2月3日まで
合格者が採用予定数に達した時点で募集を締め切る場合があります。

宮崎の畜産を一緒に
盛り上げましょう!



ブロイラー飼養羽数 全国1位
豚飼養頭数 全国2位
肉用牛飼養頭数 全国3位

(平成31年2月1日現在)

お問い合わせ

宮崎県 総務部 人事課
TEL:0985-26-7009(直通)

農政水産部 畜産新生推進局 家畜防疫対策課
TEL:0985-26-7139(直通)
E-mail:shinsei-kachikuboeki@pref.miyazaki.lg.jp

住所:〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

宮崎県職員獣医師

検索

クリック

県庁HPに採用試験案内の詳細を掲載しています。

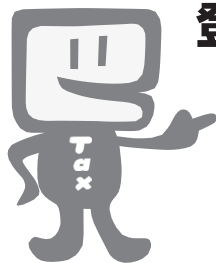
事業者の方へ

国税庁

消費税の
インボイス
制度

登録申請受付中!

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。
インボイスを交付する事業者となるには事前に登録申請が必要です。



登録申請手続は、e-Taxをご利用ください!!

- ✓ 「e-Taxソフト(WEB版)」、「e-Taxソフト(SP版)」をご利用いただくと質問に回答していくことで申請が可能です。
- ✓ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。



個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。
e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

全国どこからでも誰でも参加可能な
オンライン説明会を開催

インボイス制度の基本的な事項や留意すべき点などを解説します。また、チャット機能を利用した質疑応答も行っております。

説明会サイトへ▶



- インボイス制度に関する一般的なご相談は、軽減・インボイスコールセンターで受け付けております。
【専用ダイヤル】0120-205-553(無料)
【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く)

インボイス制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ



募 集

令和3年度帯広畜産大学「生産獣医療技術研修(WEBセミナー)」募集

国立大学法人帯広畜産大学では、以下の通り生産獣医療技術研修(WEBセミナー)を開催します。

目 的：酪農生産現場の課題である乳房炎をテーマとして、乳房炎対策の基本的管理を学び、発生の低減につなげるスキルの習得を目指します。(内容のレベル：初級～中級)

方 法：本年度は、会議用アプリ(Zoom)を用いた講義と演習を毎週1回(2.5h)×4回(4週間)の日程で開催します。また、フォローアップ研修は行いません。

日 程：令和3年12月1日(水)、12月8日(水)、
12月15日(水)、12月22日(水)
全日程とも14:30～17:00

受講環境：パソコンまたはタブレットにより受講いただけます。

光回線及びWi-Fi等への接続環境が必要です。スマートフォンでの受講は画像や音声のトラブルが予想されることからご注意ください。

募集人数：100名

対 象：獣医師及び酪農関連団体職員の指導者
(初心～中級クラス対象)

研修内容：研修タイトル(講師)

〈12月1日(水)〉

テーマ「乳房炎の原因菌」(草場)

内 容：乳房炎を起こす原因菌それぞれの特徴とその防除対策について解説します。また、乳房炎の発生を疫学的に考察し効率的な防除方法について学びます。

キーワード：原因菌, 体細胞数, リニアスコア, 疫学
開講式 → 総合質疑 → 受講アンケート

〈12月8日(水)〉

テーマ「泌乳生理と正しい搾乳」(草場)

内 容：耳にタコができるほど聞いた「正しい搾乳手順」ですが、本当に正しい搾乳とは? 形だけではなく、本筋を理解することで農家への介入のお手伝いをします。

キーワード：ラグタイム, アライメント, 搾乳衛生,
搾乳手順

総合質疑 → 受講アンケート

〈12月15日(水)〉

テーマ「搾乳システムと乳房炎」(草場)

内 容：乳房炎の発生要因は搾乳手順や搾乳衛生だけではなく、搾乳システムが原因ならば何をやっても改善しないでしょう。搾乳システムと乳房炎との因果関係を理解することで、農場サーベイ時の見るべきポイントを広げます。

キーワード：搾乳システム, パルセーションシステム, 送乳, 真空度異常

総合質疑 → 受講アンケート

〈12月22日(水)〉

テーマ「乳房炎のコントロール」(草場)

内 容：乳房炎に勝利した農家の事例を紹介しながら防除の本質を考えます。

キーワード：農場サーベイ

総合質疑 → 受講アンケート → 閉講式

修了証書の交付：4日間の研修を全て受講した方に、修了証書を発行します。

受講料：20,000円(教材費)

なお、Zoomテレビ会議システム接続に伴う通信料は各自でご負担ください。

支払方法：払込(申込み受付後に払込取扱票を送付しますので、開講日の1週間前までにお支払ください。)

問い合わせ先：

●研修内容に関すること

帯広畜産大学畜産フィールド科学センター

准教授 草場信之

☎ 0155-49-5651 FAX 0155-49-5654

E-mail: kusaba@obihiro.ac.jp

ホームページ: <http://www.obihiro.ac.jp/~fcasa/extension.html>

●受付に関すること

帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター

担当：藤倉 平

☎ 0155-49-5661 FAX 0155-49-5654

E-mail: recurrent@obihiro.ac.jp

申込方法：QRコードまたはURLからアクセスしお申込み下さい。



〈URL〉 <https://forms.gle/TxdvJkokDxxkQazM7>
※上記方法で申込みできない方は個別にご相談下さい。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター

☎ 0155-49-5661 FAX 0155-49-5654

E-mail: recurrent@obihiro.ac.jp

申込期限：令和3年11月25日(木)